



あなたと多良間村議会をつなぐ

村議会だより

辰年カジマヤー3人娘

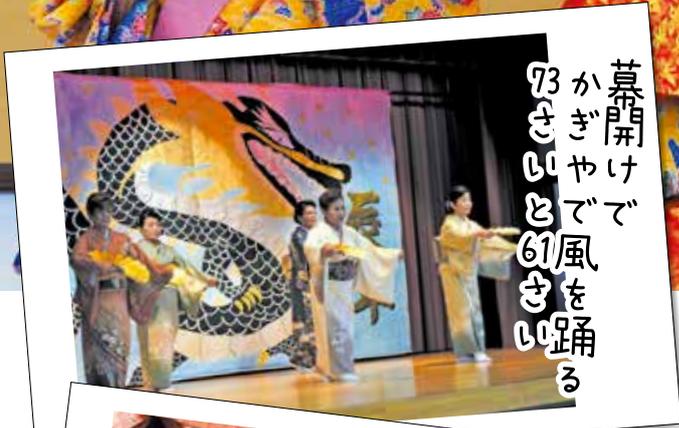
久志 キヨさん

下地 カツさん

下地 トミさん



4年ぶりのトウイ会
盛大に開催!!



幕開けで風を踊る
かぎやで
おきいと
のささい



鏡開き

CONTENTS

12月定例会

- P.2 11月臨時会議決事項、12月定例会議決事項
- P.3-7 一般質問
- P.8 議会の動き
- P.9 子ども議会
- P.10 議会トピック

村公式HPでも読めます



子ども議会開催!!

令和5年第1回臨時会審議結果

審議した件名	概要	結果
多良間村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	沖縄県人事委員会の給与勧告並びに国、県及び他の市町村職員の給与と改定を考慮し、職員の給与に関する条例の一部を改正する必要があるため。	原案 可決
令和5年度多良間村一般会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,508万9,000円を追加し、32億5,919万7,000円とする。	原案 可決
令和5年度多良間村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算の総額に22万円を追加し、1億4,542万2,000円とする。	原案 可決
令和5年度多良間村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算の総額にそれぞれ11万円を追加し、1億2,562万7,000円とする。	原案 可決
令和5年度多良間村介護保険特別会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算の総額にそれぞれ19万円を追加し、1億6,396万9,000円とする。	原案 可決
財産の取得について	地域資源循環活用機械備品購入（攪拌機） 契約金額：¥51,700,000	原案 可決
工事請負契約について	南原団地建替建築工事 契約金額：¥17,741,900	原案 可決

令和5年第4回定例会審議結果

審議した件名	概要	結果
令和5年度多良間村一般会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,943万6,000円を追加し、33億863万3,000円とする	原案 可決
令和5年度多良間村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,166万6,000円を追加し、1億6,708万8,000円とする。	原案 可決
令和5年度多良間村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算の増減をなしとし、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億2,562万7,000円とする。	原案 可決
令和5年度多良間村介護保険特別会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算の総額にそれぞれ65万4,000円を追加し、1億6,462万3,000円とする。	原案 可決
令和5年度多良間村後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の補正について	歳入歳出予算の総額にそれぞれ42万7,000円を減額し、1,109万5,000円とする。	原案 可決
多良間村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	健康保険税等の一部を改正する法律（令和5年法律第31号）の施行に伴い、国民健康保険税条例の一部を改正する必要があるため。	原案 可決
多良間村簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について	多良間村簡易水道事業会計が、令和6年4月1日に公営企業法の適応を実施するに当たり、現在の「多良間村水道事業給水条例」では対応できないため。	原案 可決



とみやまただし
豊見山 正 議員

問

オランダ商船遭難調査を
どう生かすか

答

オランダとの交流について
検討していきたい

オランダ商船遭難調査報告会に
ついて

コミュニティーまつりでの報告
会の概要説明と、教育委員会の今後
の取組について説明を求めます。

教育長

1957年、多良間島の高田海
岸で座礁・沈没したオランダ商船、
ファン・ボッセ号に関わる、語り継
がれてきたことを、歴史研究のため
に関係者から直接聞き取り、記録と
して、まとめたことについての報告
会であった。

絵本、「ウランダグーヌピルマス
バナス、オランダリーフのなぞ」を、
オランダ語、日本語、たらまふつ
での読み聞かせを行った後の報告会
であった。

報告①として、オランダ教育・文
化・科学省文化遺産庁、文化遺産ア
ドバイザー、ヨゼスヒュリユーアス
氏によるファン・ボッセ号物語と題
しての報告。報告②として、沖縄国
際大学下地賀代子教授による、オラ
ンダ船をめぐる語りの現在と題して
の報告であった。

質問

今後、教育委員会としては、引
き続きファン・ボッセ号に関する情
報収集を継続して行い。オランダと
の交流の方法等については、児童生
徒や一般の交流などいろいろな形が
考えられるが、どういう形で交流が
できるか検討していきたい。

質問

昭和49年、教育委員会発行の多
良間島の文化財という冊子には、村
の人たちは役人たちと協力して親切
にもてなし、差し当たりおかげをやっ
て飢えをしのがせ、住居を与えて、

食料は農家の持ち回りで牛肉、鶏肉
など彼らの好みに応えたので、言葉
は通じないが手まねで礼を言って涙
ぐんでいたとある。

そこで、オランダ国に何かをし
てもらうのではなくて、私たち多良
間の祖先が多くの人命を救出したこ
の人的偉業を顕彰するために、村
の事業として、例えばオランダパー
クのような事業ができないものか村
長に伺う。

副村長

答弁する前に、村長が欠席する
ことになりましたので、私の答弁で
きる範囲でお答えしたい。

平成28年9月議会で村長も答弁
していますように、大変すばらしい
取組であるが、村としてのいろんな
調査をした上で取り組むべきではな
いのかと思う。

質問

ススウキバマ道のガジユマルと
その近くにある琉球松について、村
長は観光資源としてなり得るか、あ
るいは、観光資源として活用して
いくにはどのような対応が必要なの
か探ってみたいと思いましたが、今回
の提案についてどう思うか。

副村長

ススウキバマ道はもつと先のほう
だと思うが、進んでいきますと右に
曲がる道路があり、その角のほう
にも同じように大きなガジユマルの
木がある。さらに進んでいくと幾つ
か奥のほうにガジユマルの大木を見
ることができた。ただ、残念ですけ
れども、どの木を豊見山議員がおつ
しゃっているのか確認できませんで
した。

村長が答弁していますけれども、
その後、どういう考えを村長がして
きているのか確認ができておりませ
んが、琉球松も含めていわゆる個人
の財産であるという点。それから、
そのガジユマルにどういう由来があ
るのか、どういうストーリーがつく
れるのか、その辺の検討をしながら
調査をしていきたい。



ファン・ボッセ号に関する絵本



かきはな ゆきのり
垣花 幸徳 議員

問

黒穂病の現状は

答

調査圃場の93・8%で発生

黒穂病の現状は

サトウキビ黒穂病が、今年に入ってから発生しているが、どれぐらいの割合で発生しているのか。主に感染している品種は何号なのか、全部の品種で感染が見られるのか。また、過去に発生した黒穂病と比較した場合の現在の状況について伺う。

産業経済課長

村内のサトウキビ黒穂病の現状としては、県の職員が来島し、主に農林27号を中心に、島内35の圃場を1圃場200株当たりの調査を実施しました。

調査圃場の93・8%の圃場で黒穂病の発生が見られた。一圃場では、35%以上感染している圃場もあります。株出は22号、31号からも発生が

産業経済課長

対策としては、黒穂病の周知を図ること、栽培講習会等を実施しています。

10月の原苗穂の導入の、80アール分の苗の他に、特別種苗ということで、46アール分の苗、農林8号、農林15号、農林24号が袋詰めされてきます。これを育苗、採苗していきたいと考えております。

その次の指導対策については、12月から2月、3月にかけて春植え苗用の株を取るということを徹底していただきたい。株出し苗のほうは、今回は取るのをやめていただきたい。農林27号に偏っていたものを分散化していく。抵抗性の強い28号、33号も時期を変えれば良い品種です。品種の特性を生かした植付けの周知を徹底していきたいと思っております。

迎原地区農業基盤整備事業について

土地改良工事は、畑地は全て終わっているが、一部の道路と浸透池がそのままの状態である。令和5年度で新たに入札して工事を進めると伺いましたが、いまだに工事開始の話も聞いていません。まだ入札できない理由は。

土木建設課長

迎原地区に関しては、令和5年度で舗装、石積み等終わる予定でしたが、総事業費が10%以上膨らんでおり、10%を超えると本質的な計画変更といまして、法手続きが再度必要になります。

質問

この道路は、両側とも土地改良済みの畑になっている。両側とも切り取られて畑地の水兼ブロックも設置されているが、畑地と道路の高低差が最大で約1メートル近いところもあり、何回か車が脱輪していた。浸透池も草が伸び放題で、道路との境目も分かりづらい。

早めの改善をしてもらいたい。

土木建設課長

スロープみたいな感じに、緩やかにして、こういう事故がまた起こらないような環境づくりをしていきたいと思っております。



サトウキビ 黒穂病



とみしろ げんこう 議員
豊見城 玄弘

問

農業農村整備事業管理
計画の進捗状況は

答

国営地区の範囲内に関しては、
大分進捗している

農業農村整備事業管理計画の進
捗状況は

農業農村整備事業管理計画の進
捗状況について説明を。

土木建設課長

令和5年度時点で、採択済みが
安嘉^{アコッパル}原地区ですね。来年度新規採
択も決まっております。阿波^{アバ}利真地
区、団体営、その流れで行くと大体、
国営で管理計画というのは754ヘ
クタールをカバーしております。そ
れの約80%は整備済みです。国営地
区の範囲内に関しては、大分進捗し
ていると考えております。

質問

迎原地区の工期は、平成29年か
ら令和6年、そして、高瀬第1地区
が平成30年から令和6年、高瀬第2

問

答

の計画は、令和4年から令和8年と
なっている。場所によって工期の大
きな違いはなぜか。

土木建設課長

基本的に工期は団体営が5年、県
営が6年となっております。ただ今
回の場合、予定工期がずれ込んでい
ているので、その分延びております。

要望

工期が延びれば延びるほど、農
家の負担が大きくなっていく。でき
るだけ早く工事を済ませるよう取り
組んでいただきたい。

J A多良間支店について

農家の支援団体であるJ Aおき
なわ多良間支店は、現在金融が1名、
ガス担当1名、資材店課長1名の計

3名が欠員の状態である。これ以上
一人でも欠けたら、各農業団体が動
けなくなり、お金の流れも止まる。
大変危機的な状況であるので、早期
にJ Aの経営陣と話し合いを持って
いただきたいと思うが。

副村長

J Aは私も村民にとって生活の
面、あるいは経済活動の面、決して
なくてはならない組織でございます。
逆に活動を強化してもらって村民
サービスの向上を図っていただき
たいと思います。経営陣につきまして
は、口頭ではありますが、村長から
直接要請を行っていると伺っており
ます。引き続き、欠員の対応につ
いてお願いをしていきたいと思いま

堆肥センター産肥料について

多良間村堆肥センターで製造さ
れている肥料等に関して、今後どの
ように取り組む計画がされているか
伺う。

産業経済課長

堆肥製造施設の運営委員会を9
月20日に、何年ぶりに開催するこ
とができました。議員はじめ県の普

及課、宮古家畜保健衛生所の課長に
も入っていただき、今後の堆肥セン
ターのあるべき役割について、議論
を重ねました。

質問

現在、多良間だからこそその素晴
らしい有機肥料ができてつあると聞
いている。これを用いて、本村の農
産品のブランド化を目指すべきだと
考えるが。

産業経済課長

有機J A S、有機J A Sジャパ
ン、あるいは海外までもできるよう
な有機J A S認定ができれば、農家
にとっても、やはり地域にとっても
差別化できるものだと思います。

要望

国も、みどり戦略として農業生
産を支援し、多くの事業費が準備さ
れている。ぜひ産業経済課、あるい
は各農業団体と話しを持って、各
分野に、こういったものがある、取
り組みましようよというふうな話
かけをしていただきたい。



あざと みきお
安里 三喜男 議員

問

島内景観への考え方は

答

六年度予算計上し少しずつ進めていく

島内美化への考え取組は

多良間村は、他の地域に比べて花木（かぼく＝美しい花の咲く木のこと）それと花の植栽が非常に少ない地域と言える。

道路の植樹帯は、うまく利活用できないか。

島内には普天間港線、多良間空港線、塩川仲筋線（一周道路）と歩道に植樹帯がついた道路がある。植樹帯には、ヤシの木、松、テリハボク、クロキなどの高木が植えられている。島外地域では、植樹帯の空きスペースを利用して低木、花木、花などが植栽されているところがよく見られる。

島内の村道でも、この植樹帯の空きスペースへの植栽は可能であるか。それと、現在これら道路の清掃作業は、年間で何回行われ、どれくらいの費用がかかっているか伺う。

土木建設課長

植栽は可能だと思います。令和5年度当初予算ですが、報酬、人件費が約900万円。需用費として、消耗品30万円。燃料費180万円。修繕費140万円。重機や機械使用料として100万円の計上をしております。合計で1,350万円の費用がかかっております。回数は年に3回から4回になる。

質問

植栽の意味は、その場所に合った花木や花などを植栽することによって、その場所の景観が良くなり環境美化にもつながっていく。

道路開通以来この清掃作業は続いている。

そこで、除草も兼ねて、植樹帯の空きスペースに低木、花木、花などを植栽してはどうか。

この作業は、業者さんに委託するのではなく、環境美化に興味のある婦人の皆さんに植栽と管理作業は依頼する。担当と相談しながら、苗木の選定や準備も皆さんでやってもらう。もちろん作業にかかった人件費や費用は発生する。

まずは島の玄関口である多良間空港線の半分の距離から進めてみてどうか。

これら道路の清掃管理費の3分の1、あるいは4分の1の費用で植栽や管理作業は可能だと考えるが。

土木建設課長

島内では、一周道路（南北線）と空港線、それと普天間港線に植樹帯があります。

森林組合に問合せたところ、宮古島では主にミニサンダンカが多いとのこと。まずは、空港線あるいは普天間港線辺りから取り組んで、一気にできないと思いますので、相談をしながら令和6年度予算に計上をして、少しずつでも進めていきたい。「たらま島一周マラソン大会」や「日本で美しい村」にも加盟しています。景観も考えた環境整備（美化）にも取り組んでいきたいと思えます。

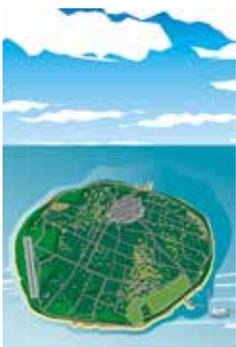
質問

多良間村は歴史や自然で認められた、日本で最も美しい村にも加盟登録されている。環境整備、環境美化などに取り組むことによって景観も良くなりさらに美しい村になると思われるが、総務課長の考え、意見を。

総務財政課長

美しい村が美しいままであり続けることを地域住民が再認識をして、次の村の将来に向けて機運を高めていくということが、この美しい村の活動の原点にあります。

村内の美化については、集落内で石垣とかブロックの下などの隙間に花などを植えたりしています。私はずばらしいと思います。あれが集落一面に広がっていくと、集落内の美化に大きくつながります。そして、これは行政だけでは無理ですので、村民皆さんで一つになってやはり取り組んでいくということが、日本一、日本で最も美しい村にふさわしい清掃活動、美化活動になるのではないかと思います。





とみやま つねかず
豊見山 常和 議員

問

山羊生産組合について

答

山羊飼育について
勉強していく

山羊生産組合の現状は

平成18年8月にヤギ飼養頭数の増加を目的に、多良間村山羊生産組合が設立されている。沖縄山羊振興活性化事業を取り入れ、ヤギの増体制、肉質改善のため、発育に優れた外国産の山羊を導入する計画であったが。

産業経済課長

10月13日、令和5年度の総会を開催をいたしております。

活動といたしましては、ピンダアース大会への協力等を行っております。

飼養頭数は令和4年度は697頭、参考に、令和3年度は750頭、令和2年度は666頭。組合員数23名です。

質問

ヤギのブランド化に向けた取組について、どのような計画があるのか伺う。

産業経済課長

ピンダアース大会、離島フェアでの出店、優良特産品の受賞等で、多良間ピンダの知名度があがっている。村の加工施設を活用し、生産、加工、販売といった独自産業化が確立されてます。

質問

畜産のブランド化というのは、一番は肉質の向上だと思う。肉質の向上のためには、粗飼料が一番大事であると思うが。

産業経済課長

どういった飼料、どういった餌

質問

のやり方、そういった技術のマニュアルがない。今後その飼料管理の講習会等の開催になるかと思えます。

畜産飼育は粗飼料の確保が必要になってくる。牛にやっている乾燥草の利用方法はできないか。簡単に確保できる、少ない労働でたくさん

の粗飼料をつくっていくというふうなことは考えられないのか。

産業経済課長

クワの葉、あるいはモンパの葉、乾燥草、アカリファとか、やっぱり栄養価の問題があるかと思えます。乾燥草も、トランスバールとかコーズとかいろんな品種がある。今後、この餌の自給の飼料と、あるいは購入する飼料のほうに關しまして、講習会等を通してどういった栄養価があるのか、ヤギの肉質を良くするためにはどういった飼料がいいのかということとは検討課題だと思えます。

質問

宮古島市においてもヤギ生産に向けた取組が、非常に活発化してきている。また、沖縄本島においても、ヤギに力を入れている。本土におい

産業経済課長

ても、ヤギ肉に似た羊肉の販売に向けて取り組んでいる。そうした中において、多良間ピンダ肉の販路というのが狭まりはしないか。

販路について、ヤギ汁、あるいは肉と、いろいろあるかと思えます。その中で、濃厚飼料や自給飼料等について改良すべき点があるかと思えます。多良間ピンダ山羊生産組合にその話もしたんですが、やはり多良間というのは独特のヤギの匂い、そしてヤギ肉、ヤギ汁用の肉を生産しているわけですので、そういったのに取り組んでいきたいという話をしています。

その中で、生産農家の育成、安定したヤギ肉の生産が重要かと思えます。屠畜、生産するヤギ肉のほうが少ないと感じております。そういう点も踏まえ、経済課だけではなくいろいろな方面で生産確保、販売については今後の課題です。



多良間村山羊舎施設

議会の動き

(9月～11月)

9月

4日	議会運営委員会（役場2階議員控室）	【議員7名】
5日	令和5年第3回多良間村議会定例会（開会）	【議員7名】
8日	令和5年第3回多良間村議会定例会（閉会）	【議員7名】
15日	多良間村敬老会（コミュニティー施設）	【議員6名】

10月

8日～9日	先島地区町村議会議長会定例総会（竹富町小浜島）	【議長】
17日	国民保護に関する現地関係機関との意見交流会（コミュニティー施設）	【議員7名】
26日	「自動運転交通サービス」に関する意見交換会（役場2階会議室）	【議員7名】

11月

3日	村民運動会	【議員7名】
4日～6日	東京多良間郷友会創立90周年 多良間まつり（赤羽会館 東京）	【議長】
7日	町村議会議長会定例総会（自治会館 那覇市）	【議員6名】
8日	町村議会議員・事務局職員研修会（読谷村文化センター 読谷村）	【議員6名】
10日	多良間神社祭	【議員5名】
12日	在沖多良間郷友会 第57回ふしゃぬふ大運動会（奥武山補助競技場 那覇市）	【議長】
18日	たらま島一周マラソン大会	【議員7名】
21日	令和5年第1回多良間村議会臨時会	【議員7名】
28日	離島振興市町村議会議長会全国大会（ホテルグランドアーク半蔵門 東京）	【議員6名】
29日	町村議会議長会全国大会（NHKホール 東京）	【議長】



11月29日にNHKホールで行われた町村議会議長会全国大会



多良間村子ども議会

中学生から12の一般質問



1月23日多良間村子ども議会が行われ、多良間中学校1年生が議員として登壇した。

傍聴席の村議員や役場ロビーのモニターで保護者が見守る中、議長に與那嶺琉さん、副議長に高江洲咲人さんが任命され、中学生目線の12の一般質問が、伊良皆村長ら村当局に行われた。

天久夢羽議員の、八重山遠見台への道が暗くて避難するとき危ない、との質問に来間総務財政課長は、街灯は必要と考える設置まで時間がかかるので設置までの間は、取り外しが出来るソーラーライトを令和6年度に予算化したいと答えた。また、高江洲咲人議員の、島のいろんな場所にゴミ箱

を設置することへの提案に佐和田住民福祉課長は、村の条例に、多良間村美ぎ島づくり条例、多良間村環境美化条例とあります。その中で、屋外において自ら生じさせた空き缶等及び吸い殻等を持ち帰り村内の環境美化に努めなければならない。また、村民等は自ら生じた空き缶等のゴミはみだりに捨ててはならないとうたわれています。そういったことから、村としては、ゴミ箱の設置については考えていません。村民一人一人がマナーを守り行動することで環境美化につながると考えます。皆様のご理解、ご協力をよろしく申し上げます。と回答した。

No.	議員名	質問事項
1	天久 夢羽	八重山遠見台への道に外灯設置について提案します
2	池間 龍盛	私は、ゴミ拾いについて提案します
3	石原 毘佳里	黒豆の栽培について検討していただけますか
4	大城 幸助	多良間島限定品の生産販売を検討していただけますでしょうか
5	亀川 世羅	さとうきびやかぼちゃなど以外の特産品としてイチゴを栽培するのはどうですか
6	高江洲 咲人	島のいろんな場所にゴミ箱を設置できないでしょうか
7	與那嶺 琉	バスケットコート付き公園の設置について提案します
8	清村 優心	子ヤギのふれあい施設を作ることはできないでしょうか
9	佐和田 千之亮	多良間に、雑貨店をつくるのはどうでしょうか
10	島袋 創八	星を見ることができる観光スポットを作ることはできないでしょうか
11	豊見城 甘雨	中学校の体育館の修繕と一階のカーテンの取り付けについてお願いしたいです
12	本永 つかさ	ガチャの設置についてお願いしたいです



12月11日(月)12月定例会開会后、管内視察を行った。

土地改良迎原地区の道路状況を確認すると、一部区間が道路と畑地の高低差が1m以上ある場所があり、車が脱輪するなど危険な状況。

シュガーガー周辺やトゥカパナ西側では木が生い茂って、道路にはみ出している等確認し、執行部へ対策を講じるよう働きかけた。

議 会 ト ピ ッ ク

12月定例会
管内視察



①道路にはみ出す木々

行 程

迎 原 地 区
シュガーガー周辺
トゥカパナ西側
クリーンセンター
青年会事務所



シュガーガー横



トゥカパナ西側

②道路の状況



高低差で危険な迎原地区道路

③新施設の確認



クリーンセンター新施設の確認

④老朽化した
建物の現状



青年会事務所

編集後記

広報クリニックとは何か？

県内町村が発行している「議会だより」を読み、各町村広報委員の視点で意見や感想を出し合う場である。

1月31日、議会広報研修会(那覇)に参加した。

今回は県内30町村中29町村の参加であった。「議会だより」を発行して間もないところ、年に1回発行の自治体など様々である。

他町村の「議会だより」を事前に目を通し、良いところ 参考にしたいところ 評価できるところ 気になる点や質問したい点などを具体的に取上げ指摘しあう。

私たちの「議会だより」は4～5年前の広報クリニックにおいて優秀賞を受賞したことがある。

今回は31項目の意見、感想が他町村から寄せられていたが、私的には9割以上が好印象のコメントであった。と、受け止めている。

しかしながら、これらは広報紙に携わっている他町村の広報委員の方たちの意見である(自己満足で終わっていないか)。

「議会だより」発行の意義は何なのか。

議会と行政執行部とのやりとりなどが、見やすく 分かりやすく 楽しく読める構成になっているか。子供や大人、高齢者の方たちも含め村民全員が手に取りやすい広報紙作りになっているか。

今一度考えるきっかけにしていきたい。

広報委員

安里 三喜男

